

その「物語」、の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.051

a taste of Ya'ssy

田中 康夫



たなかやすお ● 56年生まれ。衆議院議員、新党日本代表、作家。
'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選。
'09年8月の衆議院選挙で兵庫8区から立候補し当選。【公式ブ
ログ】 www.nippon-dream.com/



“大阪の秘境”に踏み入れて味わう 塵取鍋の得も言われぬ豊潤な味わい

今週の逸品



キモ焼 650円

御主人が10年前に逝去後も、小柄で繊細な奥様と子息が切り盛り。桃谷駅からは徒歩20分。鶴橋駅前の千日前通・下味原交差点から玉造筋を南下。細工谷交差点手前の斜め一方通行を経て「疎開道路」を右折。一

つ目の信号を越え、更に鶴橋中学を目指してカーブを描く路地を選択。店先へ到着のディーブアクセスをタクシーで指示するのにも秘境探訪感を高める。無難に今里筋沿いで下車。平野川方向へ徒歩2分の選択も。

【万才橋】大阪市生野区勝山北5-9-5 ☎06-6716-1560
※17:00~22:00(LO21:00) 定休水曜

illustration by Hajime Anzai



難読なる杭全はくまた。河川の氾濫を防ぐ為の杭を全て打ち終えたのが地名の由来、と伝えられます。その大阪市東住吉区杭全に位置するJR西日本・大和路線の東部市場前駅は、国鉄時代に旅客供用されていた百済駅が前身。並走する関西本線貨物支線には今でも貨物駅としての百済駅が存在します。言わずもがな、百済は「くだら」。江戸よりも遙かに古い難波の歴史を隠します。

百済川とも呼ばれた平野川は、柏原市で大和川から分流。河内首頭の八尾市から平野区、東住吉区、生野区、東成区を経て城東区で大阪城の外堀を形成。第二寢屋川から淀川へと流れ込みます。

生野区の平野川沿い一帯は、猪飼野と総称されます。物の本に拠れば、仁徳天皇の御代に百済から渡来してきた人々が猪を飼った場所です。日本書紀には、仁徳天皇14年(皇紀986年・西暦326年)、百済川に猪甘津橋を架橋、と記述されています。文献に登場する日本最古の木造橋。幾度かの架け替えて、「いかいつのはし」は「つ

るのはし」へと呼称が変わり、JR大阪環状線と近鉄大阪線が交わる現在の「鶴橋」に至ります。大正から昭和に掛けて、蛇行していた平野川の改修工事が行われ、新たに渡航してきた朝鮮民族が労働に服しました。生野区民の4人に1人が外国人登録者。国内最大比率たる所以です。

が千客万来。そこから南に下った平野川に面した一廓で営まれる「万才橋」は、塵取鍋の発祥地として夙に知られます。松下幸之助翁が大正6年に妻と義弟の二人三脚ならぬ「三人四脚」で電球ソケットの製造・販売に動しんだ猪飼野には今猶、零細なれど意気軒昂な町工場も点在します。四隅を折り曲げた塵取型の鉄板鍋も、戦後日本を支えてきたモノ作り産業の創意工夫です。先ずはキモ焼(650円)から愉しむのを推奨。網焼きでなく塵取鍋での「鉄板焼」。故に、敷き詰めた垂汁が絶妙な塩梅で肉幾へとしみ込みます。加えて、てっちりゃん鍋とは異なり、野菜は玉葱と長葱のみ。水気を含んだ明やし等を取入れて入れ込まぬ事で、味わいは豊潤さを増します。